

2025年12月

# ぬくもり

編集と発行 人権啓発ネットワーク大東  
〒574-8555 大阪府大東市谷川1丁目1番1号  
電話 072-870-0441 FAX072-872-2268

2025年11月11日 役員・常設委員交流フィールドワーク

立命館大学国際平和ミュージアム見学



なにげない日常こそ 守りたい平和

初秋のよく晴れた日、委員11名と事務局4名でマイクロバスに乗り1時間と少しで京都の立命館大学に着きました。キャンパスから5分ほど歩いたところに、国際平和ミュージアムはありました。大学で平和の学習というこれまでにない取り組みと、「手塚治虫さんの『火の鳥』のモニュメントが素晴らしい！」という噂に惹かれ、参加させていただきました。

学芸員さんから導入の説明を受け、世界初の大学による平和博物館であり、「自分にとって平和とは？」を目で見て考えて、会話をしながら、行動するきっかけをつかむ、「対話するミュージアム」であることを知りました。

第二次世界大戦のとき、立命館大学は積極的に戦争に加担し、学徒動員では3千人が出陣し、そのうち千人が帰ってこなかったそうです。その反省から、教学の理念を「平和と民主主義」と定めました。毎年夏だけ民間で開催されている「平和のための京都の戦争展」から多くの資料を譲り受け、1992年に開館しました。その後何度もリニューアルされ、現在の「対話型」の展示に至っているそうです。

ガイドさん4名と共に、地下の大きな展示スペースへと進みました。

まずは、年表と共に世界の歴史の流れを追い、帝国主義から日本が戦争へと向かう流れ、加害と被害について順々に理解していきました。続いて、たくさんの証言や遺品をもとに、その時代に生きてきた人々の想いを知りました。最も印象に残っているものは、兵隊として召集され中国大陸に渡った方のビデオ映像です。ある村を全滅させた経験談で、「一度罪を犯すと…」麻痺してしまい次々と民間人を殺害してしまった後悔を語ったものでした。自分がその立場だったらどうだろう？と考え込んでしまいました。

その後、様々な証言のカードを集めたりしながら進み、私が生まれた1966年頃から、より自分事として「こんなこと也有ったなあ」「これはどういうこと？」など、ガイドさんとお話をしながら、資料の意味を深めていくことができました。

平和とは、一体何でしょうか？ 単に暴力のない状態でしょうか？



パンフレットには、

人は誰もが豊かな能力を開花させる可能性をもっています。

それを阻むものは何でしょう。

人のいのちやくらしを脅かすものは何でしょう。

その時、あなたは どのような選択をしているでしょう。

と書いてありました。

その時々の、その人の問題意識で、対話をしながら学び・考えることのできるミュージアムであったと思います。そして、平和を身近な問題として今後も話をし、行動するきっかけとしたいと感じました。

帰りのバスの中、色づき始めた京都の街並みを観ながら、「学んだけど、交流はあまりできなかったね」と笑いながら、お菓子を配ってくださったTさん。ごちそうさまでした。こんな何気ない日常が大切なんだなあと思いました。そして、知り合いを誘ってまた訪れてみたいと思いました。

(レポーター：あき)



# となりの生き生きサン



ここでは、大東市の人権推進につながる取り組みを行っておられる方々や団体の紹介をさせていただきます。

## 「人生を豊かにするために勉強するんだ」 子どもの居場所づくりのために塾経営



塾で指導する藤井先生

「進学校入学を掲げる塾も大切。しかし、子どもの居場所づくり、子どもが勉強に通いながらもホッとする場を提供することもすごく大事。」と話す藤井浩二先生を紹介します。主に大東市内で約40年間教員として働きながら塾を経営されています。

塾をはじめたきっかけは、小学生が、親に「あんた、宿題やってないの?」と言われることが多いが、今は両親共働きが多く、家庭で小学生の勉強を見てやることも少なくなった。それなら、自分がその場を作ろうと思ったそうです。そして、おうちでの親子の会話が宿題や勉強のみの内容にならないようにしたいそうです。そんな藤井先生がモットーにしているのが、「子どもは、一つ賢くなることでやる気が出てくる。」というもの。

子どもたちが分からぬところがあると、丁寧に教えて、その結果子どもが自信をもつこと、これが何より大事だし、うれしいことです。また、「人は死ぬまで勉強。入試が終われば勉強しなくなるようではだめで、人生を豊かにするために勉強するんだ。」という考え方の持ち主です。子どもから悩みを聞くこともったり、塾に通う子どもたち同士のつながりも大切と思い、ときには、たこ焼きパーティーをしたり、パンケーキをみんなで焼いたり、ゲーム大会を企画することもあるそうです。アットホームな雰囲気がたっぷり感じられますね。損得抜きで子どもの学力保障と心の「安全基地」づくりに努める藤井先生を今回は紹介しました。

(レポーター がんちゃん)

連絡先 「#ふじいちゃん家」問い合わせはこちらから→



## 平和なまち 絵画展 IN 大東市

### 子どもたちが描く平和の願い

9月26日(金)、27日(土)の二日間にわたって、「平和なまち 絵画展 IN 大東市」が大東市民会館キラリエホールで行われました。この絵画展は、大東市に住む6歳から15歳の子どもたちが、自分たちの思う「平和なまち」を絵にしたものでした。小学生の作品に加え、中学生からの応募もありました。



展示会場には多くの子どもたちと保護者などが訪れ、作品一つひとつを丁寧に見学されていました。子どもたちの作品には人と人とのつながり、人を包む愛、ハート、友情、それらを包み込むイメージで描かれた虹、人間の笑顔、自然を大事に思う気持ち等々、各人の思いがストレートに伝わってくるものばかりでした。出品された作品すべてが金メダルです。

すべての作品を見終わって、ここにいる子どもたちが大統領や国リーダーになれば、1日で世界中の戦争がなくなるだろうなど感じました。

(レポーター がんちゃん)

### 親と子で平和を考えるつどい

### ストールンプリンセス キーウの王女とルスラン

9月27日(土)午後1時より、市民会館キラリエホールにて、親と子で平和を考えるつどいが開催されました。以下は、配布のパンフレットを参考にしました。

#### 上映の目的

今、ロシアとウクライナは戦争状態にあり、今も多くの人たちが苦しんでいます。今日の映画はこの二つの国がまだ戦争をしていないときにロシアで制作され、ウクライナでも上映されたものです。この映画を見て、ロシアとウクライナの国について考えるきっかけになればうれしいです。

#### あらすじ

騎士にあこがれる青年ルスランは、自由を求めて王宮からぬけだした王女ミラと運命的な出会いを果たし、恋に落ちる。しかし、悪の魔法使いチエルノモールがルスランの目の前でミラを連れ去り、ミラの愛の力を自分の魔力に変えてしまう。ルスランは、愛するミラを救うため、真実の愛は魔法よりも強いことを証明するべく旅に出る。



当日は、想定どおり、多くの親子連れが集まりました。今か今かと待っていると、進行役の方が、なんと腹話術で説明をし始めました。それだけで、子どもたちは大盛り上がりです。それを見ている大人たちも自然と笑顔になっていました。アニメの力は絶大ですね。映画が始まると、赤ん坊から小学生の子どもたちまで、もちろん大人も集中して映画に見入っていました。魔法使いが複数登場し、魔法が次々と使われ、胸がドキドキです。

現在、戦争状態にあるウクライナとロシアが戦争をしていないときにこんなに素晴らしい映画を制作していましたことを知り、現在と比較し、一日も早く以前の平和な関係が訪れることを多くの人が思う一日となりました。

(レポーター がんちゃん)

# JR野崎駅人権啓発看板に掲げる人権標語(3点)決定！【結果発表】

人権啓発ネットワーク大東の会員の皆様を対象に募集しておりました人権標語について、地域啓発委員会にて厳正なる審査の結果、次のとおり決定しました。

たくさんの会員の方々から標語をお寄せいただき、誠にありがとうございました。令和8年春、看板設置予定です。



認め合い 尊重し合う 社会を築こう



いのちとは くらべられない たからもの



祈ろう平和 世界の平和 我が家の平和

## ★ 会員募集

人権意識をたかめるための研修会などへの参加・参画。  
人権尊重の理念を広く市民に広げるための啓発・広報活動など。  
会費等はありません。

ぬくもりネットだいとう  
マスコットキャラクター



## ★ ヒューマンライター募集

大東市で人権推進につながる取り組みを行っている方々の取材をしていただける方（ヒューマンライター）を募集します。

はぴくる

【応募方法】 様式は問いません。

ご住所 お名前 電話番号を記載の上 郵送、FAXでお願いします。

〒574-8555 大東市谷川1-1-1

大東市役所 (市民生活部 人権室内)

人権啓発ネットワーク大東事務局

TEL: 072-870-0441

FAX: 072-872-2268

## Facebook(フェイスブック)

人権啓発ネットワーク大東の活動がみなさんに届くよう、Facebookページを開設しました！ぜひ、フォローお願いします！

(Facebookで「人権啓発ネットワーク大東」を検索！⇒)

